

エコサイクルセンター利用者へのアンケート調査結果

1 調査概要

(1) 調査目的

エコサイクルセンター利用者の今後の排出見込量や、管理型最終処分場の必要性（ニーズ）等を把握することを目的としたアンケート調査を実施した。

(2) 調査対象

エコサイクルセンター利用者：172社

(3) 調査内容

- ・産業廃棄物の排出見込量について
- ・高知県内への管理型最終処分場の必要性について
- ・新たな管理型最終処分場の望ましい整備主体について 等

(4) 調査期間

平成28年7月～9月

(5) 回答数

93社（回答率：約54%）

回答93社のエコサイクルセンターへの排出量は、埋立実績（H23.10～H27.3）の約97.5%を占めている。（表1-1）

表 1-1 回答93社の埋立実績に占める割合

	埋立実績	回答者	
		埋立量	占有率
燃え殻	13,300	12,961	97.5%
ばいじん	1,210	1,210	100.0%
汚泥	1,115	668	59.9%
鋳さい	31,148	30,557	98.1%
廃石綿等	296	193	65.2%
廃石膏ボード	12,259	12,252	99.9%
建設混合廃棄物	183	174	95.1%
合計	59,511	58,015	97.5%

2 調査結果

(1) 産業廃棄物の排出見込量について

【設問】 貴事業所から排出される産業廃棄物について、現在の排出品目毎の排出量（平成27年度実績）と、将来の見込みをお答えください。

表 2-1 利用者の排出見込量（重量）

[t/年]

	実績値	将来見込量		
	平成27年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度
燃え殻	2,832	3,010	3,005	3,015
ばいじん	340	401	401	401
汚泥	1,403	1,175	1,175	1,175
鉱さい	4,882	5,443	5,443	5,463
廃石綿等	32	38	40	42
廃石膏ボード	4,434	4,514	4,470	4,472
建設混合廃棄物	1,195	1,282	1,311	1,345
合計	15,118	15,863	15,845	15,913

表 2-2 利用者の排出見込量（変動指数）

	基準値	将来予測値		
	平成27年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度
燃え殻	100	106	106	106
ばいじん	100	118	118	118
汚泥	100	84	84	84
鉱さい	100	111	111	112
廃石綿等	100	119	125	131
廃石膏ボード	100	102	101	101
建設混合廃棄物	100	107	110	113
合計	100	105	105	105

エコサイクルセンター利用者の排出見込量(産業廃棄物の排出量)における平成27年度を100とした場合の変動指数(増減率)を示す。

【計算例】燃え殻[H32]: $106 = (3,010t[H32] \div 2,832[H27]) \times 100$

(2) 高知県内への管理型最終処分場の必要性について

【設問】 高知県内に管理型産業廃棄物最終処分場が必要かどうか、次のいずれかに○をつけてお答えください。

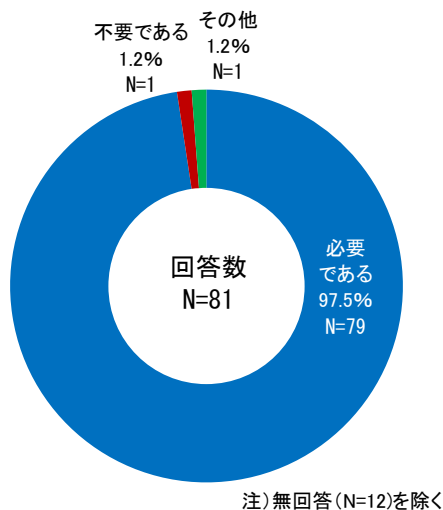


図 2-1 管理型最終処分場の必要性

【設問】 「必要である」とお答え頂いた方にお聞きします。高知県内に管理型産業廃棄物最終処分場が必要な理由について、次のいずれかに○をつけてお答えください。(複数回答可)

表 2-3 管理型最終処分場が必要な理由

	回答数	割合 (無回答除く)
県内の廃棄物は県内で処分すべきである	59	74.7%
近くに管理型最終処分場があった方がよい	56	70.9%
不法投棄の減少につながる	31	39.2%
県民の環境意識が高まる	13	16.5%
安定型5品目以外の廃棄物が増えている	10	12.7%
県内の環境ビジネスの活性化が見込める	9	11.4%
その他	1	1.3%

※複数回答あり

【設問】「不要である」とお答え頂いた方にお聞きします。高知県内に管理型産業廃棄物最終処分場が不要な理由について、次のいずれかに○をつけてお答えください。(複数回答可)

表 2-4 管理型最終処分場が不要な理由

	回答数	割合 (無回答除く)
県外に利用できる管理型産業廃棄物最終処分場があるから	1	100.0%
環境への影響が懸念される	0	0.0%
利用する頻度が著しく少ない	1	100.0%
安全性に不安がある	0	0.0%
その他	0	0.0%

※複数回答あり

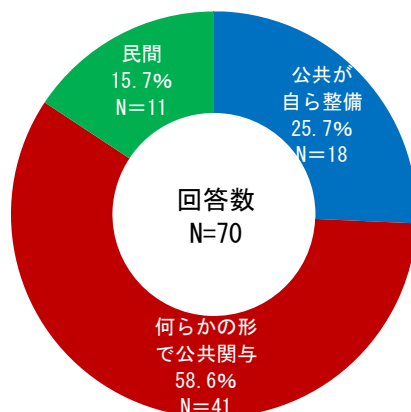
【設問】「その他」とお答え頂いた方にお聞きします。その他を選んだ理由をお答えください。

【その他の理由】

- ・再利用できる方法の検討

(3) 新たな管理型最終処分場の望ましい整備主体について

【設問】今後、高知県内に新たな管理型産業廃棄物最終処分場を整備する場合、望ましい「整備主体」について、次のいずれかに○をつけてお答えください。



注)無回答(N=6)、複数回答(N=3)を除く

図 2-2 管理型最終処分場の望ましい整備主体

【設問】 「望ましい整備主体」を選んだ理由についてお答えください。

表 2-5 望ましい整備主体を選んだ理由

望ましい整備主体	主な理由	件数
公共が自ら整備	信頼性が高い	7
	<ul style="list-style-type: none"> ・不測の事態への対応が早急に出来ると思われる。 ・地方公共団体が事業主体であれば、将来も安心して利用できる。 ・整備、管理面で充実していると思う。 ・処分費用の安定やいつ無くなるかわからない不安が少ないため。 	
	民間整備は難しい	3
何らかの形で公共関与	信頼性が高い	14
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共団体が関与することで、不正処理の心配がなくなるため。 ・迷惑施設的な感覚があり、行政も関与すべき。 ・環境問題は世界で考える時代であり、故に民間より何らかの形で地方公共団体の関与は絶対に必要だと思う。 ・重要施設であるため公共の関与が望ましい。 ・施設設置地域との対応を考慮し、健全な施設管理を行うため。 ・管理運営上望ましい。 ・廃棄物最終処分場は、地方公共団体が関与しなければ前進しない事案であると思う。 ・エコサイクルセンターと同様であれば問題はないと考えるため。 	
	民間整備は難しい	9
	<ul style="list-style-type: none"> ・許可取得までの過程を考えた場合、高知の民間事業者だけでは厳しいと思う。 ・地方公共団体が関与した方が、地元の合意を得やすく、情報公開等、開かれた管理型処分場になるのではないか。 ・将来起こりうる南海地震等の大きな災害が発生した場合、民間では限度がある。 ・全て民間事業者だけで行うより良いと思う。 	
民間	官民連携での取組を期待	5
	<ul style="list-style-type: none"> ・適正確実安心な公共関与。民間のコスト意識が反映されるから。 ・民間のスピード感と公共の客観的立場による透明性と地域住民の安心のため。 ・民間でも充分であるが、必要に応じ行政のバックアップがあると良い。行政が高い意識で関与すべきである。 	
	サービス向上が期待できる	2
民間	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者が複数存在すれば設備面でサービス向上が見込めそうだから。 ・競争意識があるほうが分野成長が見込める。 	
	民間整備は可能	2
	<ul style="list-style-type: none"> ・民間でできるものがあれば、整備の分担等が可能ではないか。 	